

### 編輯室の内外

六月號もいよいよ刊行の運に至つた、中央地方に通し多數の官吏交迭が行はれ臨時議會は開會せられ夫れ等に關しての記事を掲載したいと思ふたが意の如くならず之を省くこととした、淋しい感がする。

特別議會も愈千秋樂となつた、割合に種々の問題があつたが非常の時局殊に二・二六事件對處の秋結局は政府の施設企圖に依倚することとなつた、で昭和十一年度の豫算も確定したので追加豫算として要求した路政費即ち府縣道改良補助費四、三三〇、〇〇〇圓國道改良繼續費三、九〇七、六五七四(從來單年度經費としてをつた新國道外六ヶ所改良費)合計八、二三七、六五七圓が可決された夫れで前年度路費實行豫算國道改良費四、六六九、〇〇〇圓其他四一三、〇〇〇圓合計五、〇八二、〇〇〇圓と此二口總計一三、三一九、六五七圓の道路事業が昭和十一年度に於て施行せらるゝ事となつたのである路政當局は緊縮一番大に奮發して事業の成績を擧げられんことを祈る次第である。

橋梁の架設竣工の報を聞き歡喜に堪へぬ而かも大橋と命名する橋二三に止らない茨城千葉を結ぶ水郷大橋、富山から高岡に通ずる富山大橋の如き夫れである、和歌山紀の川に架する北島橋は其の橋長に於て富山大橋より一四八米水郷大橋より六六米長い大橋である、優に北島大橋と命名しても其の實に背かない、其の雄姿を紀の川の清冽な水にうつして居る、其工事概要ハ工事畫報五月號井上技師)に依りて橋梁の架設工事上の興味を感ずることは少なくない。

民族力の進展が其民族の有する科學力、増殖力、團結力、經濟力等に依存することは言ふを待たない所である、其の科學力の發現は各方面に認めらるるも特に土木事業に尤も顯著な事象であるから其方面に關して研究することは興味あることである、「民族と科學」と題する浦本醫學博士の一文(工政五月號)の如き一讀すべき好資料である  
本誌に時折「道草をたべる」どか「道路景觀」とか題して興味津々たるものを寄稿された内務技師池本泰兒君は今や中央アジアのアフガニスタン國に招聘せられ日本技術者の威力を發揮されて居らるゝ吾人は之

を一の誇と思ふ、四月の「土木」誌上に同君の通信が二十一頁に亘りて記載されカブル市の道路風景、兩替及土産、獨立記念祭、同君の住ひ、役所の模様等々が同君の繊細な筆致で描き出されてゐる特に同國に關しての智識を缺如せる者に取りては中々裨益を與へられた、吾人は同君の健康を祈ると同時に本誌にも寄稿を切望する所である尙同君(小包を出す時は(M.R. T. He moto, %K.A. Gai Peshaman British Indian. (% Legation of Japan, Kabul Afghanistan) 表記するを要する。(洗

定價一部 五十錢  
一ヶ年分 金 六圓

東京市麴町區外櫻田町一番地内務省  
發行所 社團 道路改良會  
法人

東京市世田ヶ谷區北澤五丁目七五二  
電話銀座(57)四二七

發行所 小島 效  
編輯者

印刷所 東京市小石川區諏訪町五六  
常磐印刷所  
印刷者 奈良直一